令和６年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
保健体育	体育	２	３－１～３－Ａ

１．学習の到達目標

・運動の合理的な実践を通して、高度な運動技能を習得させ心身ともに健全な人間性の育成を資するとともに、体育実技、スポーツの振興、発展に寄与する能力と態度を育てる。
・体育、スポーツを通して生徒の人権意識を高めるために、集団的種目においては、相手を思いやる気持ちの育成につとめる。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	１．集団行動 ２．スポーツテスト ３．伊勢音頭練習 小テスト	・集団行動の主な行動様式を体得し、機敏、的確に行動できる。 ・個人の体力、運動能力の現状を確かめる。 ・集団的技能または個人的技能を生かすことのできる能力と態度を養う。 ・個人的スポーツの特性について理解させ、個人の技術を最高度に発揮して競技ができる能力と態度を養う。
２学期	４．体育祭行進練習、伊勢音頭練習 ５．陸上競技（ハードル） ６．バスケットボール（応用） 小テスト	・集団的技能または個人的技能を生かすことのできる能力と態度を養う。 ・個人的スポーツの特性について理解させ、個人の技術を最高度に発揮して競技ができる能力と態度を養う。
３学期	７．サッカー（応用） 小テスト	・個人の基本技術を生かし、チームワークの重要性を養う。リーグ戦を行い優勝チームを決める。 ・縦割り学年の練習試合を行う。

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	実技テストによる評価、授業態度による。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	運動の特性に応じた実践に必要な態度を身につけ、意欲的、積極的に運動を実践しようとする。また、体育に関する諸問題について意欲的、積極的に関心を持ち、その解決に協力しようとする。	状況に応じて適切な行動ができる。高度な運動技術の習得を目指して、個人やグループでの運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を研究している。	運動をする楽しさや喜びを味わうために必要な高度な運動技能や方法を身につけている。運動の特性と合理的で安全な運動の行い方などの基礎的事項を理解するとともに、体育用具の使用や体育施設の有効的な利用について理解する。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館）
副　教　材	なし